



実践クラブ
きたうら もりかね
北浦 守金 議員

有明の森フラワー公園に係る不正な事務処理

- Q** ①第三者特別委員会の報告書を読んだ市長の感想は。
- A** ②不正経理の要因は「アルレッキーノ」だが、市長は運営計画を聞いていたのか。
- Q** ③不正経理、赤字補填の責任は指定管理者ではなく産業部の職員に責任があると思うが。
- A** ④警察にお願いすると、核の部分が表に出ると理解するが。
- Q** ⑤再発防止に取り組んでいるのか。また、フラワー公園は現在直営だが、早急に指定管理者の募集をかけられないか。
- A** ①つかみにくいところが多いというのが率直な感想。
- Q** ②口頭で大丈夫かと担当者に聞くと、大丈夫という報告であった。直接的に中身の報告の機会はなかった。
- Q** ③あやふやな指定管理の中での自主事業の扱いだった。一定の関係性については司法に判断してもらわなければならないと思う。

- ④警察による捜査が全容解明につながると考え、資料等を提出。最終的な告訴状の提出について警察と調整している。
- ⑤再発防止策を構築した上で、物産館を含めた施設の指定管理に向けて取り組んでいきたい。

半導体関連企業の誘致

- Q** 企業誘致に必要な条件は。
- A** 平たんで広い用地、物流に係る道路や主要道へのアクセス環境、電力の送電、十分な工業用水、排水路、人材確保。

- Q** 世界的な事業である半導体の企業誘致を期待している。工業用水供給能力調査業務に係る期間は。
- A** 半導体、医療、工業用水を求めている企業にあたりたい。調査は年内に一定の区切りをつけ、周辺の農業や生活用水への影響など見極める調査を、2分の1の県補助で行いたい。

- Q** 今の職員体制で誘致合戦に負けないか。また、地元住民にきちんと説明をしないと、企業誘致の足かせになってはまずいと思うがどうか。
- A** チャンスと思えば応援体制も必要なので、議会にもご相談したい。地元住民にも早急に説明をしたい。



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

市職員の職場課題

- Q** 行政改革で正規職員は352人となり、平成18年4月1日時点の432人を基準とすると80人も減少し長時間労働の要因となっている。現在の業務量を考えると、正規職員不足は改善すべき重要課題である。市長は職員を守る責任がある。市正規職員の定員管理の適正化の考えは。
- A** 平成29年4月1日の職員数368名を基準に適正な人員配置を図る。

- Q** 職員の休日未取得の実態と見解、サービスク残業の実態はあるのか。
- A** 今後也未取得は消化するよう働きかけたい。時間外勤務は各所属長において、必要性の命令と事後の確認を徹底させており、サービスク残業は行われていないと認識している。

- Q** 会計年度任用職員は来年度より勤勉手当の支給が可能。その準備は。
- A** 国の動向を注視し、県内各市の状況を勘案し進めたい。

新山本町線、交差点の交通事故防止と安全対策

- Q** 新山本町線・総合運動公園と白土湖縦線交差点に信号機設置を。
- A** 信号機の設置は住民や関係者の要望もあり、警察には2度要望したが、市としても危険性は認識している。引き続き、看板設置や路面標示等を県振興局と連携し、必要な対策に取り組んでいきたい。

- Q** 信号機がつかない理由は。なぜ「止まれ」の表示ができないのか。
- A** 1度目の警察への要望で、フル規格の信号機設置は上の原球場線の幅員が狭いなど道路構造上、難しいという回答。2度目は押しボタン式信号や一時停止線の設置を要望したが、今後の交通実態を踏まえ検討するとの回答であった。

吉獣の対策

- Q** 野生のサルが中心市街地で目撃されている。本市での害獣駆除対策マニュアルは。
- A** 県のマニュアルを基に対応。目撃のサルは基本的には山に追い払うよう市民と協働して対応している。

【その他の質問項目】

- ◇（人口減少対策）交通運輸産業と介護職の強化、農業政策について
- ◇（学校運営と環境）学校の統廃合方針の今後の考え方と教職員不足問題、新温水プール建設でのグラウンドゴルフなど霊丘公園運動広場の代替策経過について